



平成 30 年 6 月 13 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

当社米国子会社 Kinometrics が共同開発に参画した地震計パッケージが NASA の火星着陸探査機 InSight に搭載され、日本時間 2018 年 5 月 5 日(土)午後 8 時 5 分、ヴァンデンバーグ空軍基地より火星に向けて打ち上げられました。

MarsInSight は火星の地質学的調査をミッションとする世界でもはじめてのプロジェクトです。地震計や熱流量計を利用し、火星の内部構造を探ることで、太陽系の惑星の成り立ち等を解明することが目的です。

InSight には SEIS (Seismic Experiment for Interior Structure) と呼ばれる地震計パッケージが格納されており、SEIS は広帯域地震計(Very Broad Band Seismometer : VBB)と短周期地震計 (Short Period Seismometer : SP) の 2 種類の地震計で構成されています。広帯域地震計 VBB は、火星で発生する低周波の地震波を捉え、その地震波が地盤内部に伝わる速度の違いを図ることで深部の地質構造を調査します。一方、短周期地震計 SP は、小さな竜巻などによって引き起こされる周期の短い振動を観測することにより、深度数十m～数百m程度までの表層の地質構造を明らかにします。Kinometrics は、イギリスのインペリアル大学、オックスフォード大学と共同で、後者の SP の開発を担当しました。SP は、非常に微細な振動を捉えられるほど繊細なシステムである一方で、ロケットの発射や着陸時の衝撃などに耐えられるよう特殊な設計が施されています。

InSight は日本時間 2018 年 5 月 5 日(土)午後 8 時 5 分、アメリカ合衆国カリフォルニア州ヴァンデンバーグ空軍基地よりアトラス V ロケットで打ち上げられました。約 6 か月後に火星に到着し、探査が開始される予定です。



ヴァンデンバーグ空軍基地での発射前の様子（Kinematics 撮影）

NASA MarsInsight 関連サイト <https://mars.nasa.gov/insight/>

Kinematics ウェブサイト <https://kinematics.com/>

以上

**【本件に関するお問合せ先】**

応用地質株式会社 社長室 川地・橋本

TEL : 03-5577-4501

E-mail : [prosight@oyonet.oyo.co.jp](mailto:prosight@oyonet.oyo.co.jp)